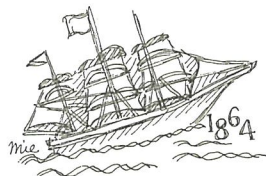


DOSHISHA REPORT



法人部

●第30回新島講座

第30回新島講座は、セルビア・モンテネグロ国ユネスコ常駐代表部代表ドラゴリユーブ・ナイマン大使を迎え、5月25日に大学寧静館、続いて5月27日に女子大学知徳館において公開講演が開催された。講演の演題は各々「西・西対立…米・欧関係の将来」(“West - West Conflicts: The Future of the US - Europe Relations”)と「国連改革は可能か?…その目的と方法」(“Is the UN

Reform Possible?: For What and How”)であった。また、5月25日には大学明徳館で「最重要課題…教育」“The Priority: ‘Education’”の演題のもとで公開セミナーも開かれた。今回の新島講座には、大学の教職員や学生だけでなく、国際政治に関心を寄せている一般の方々の参加も多数あり、盛会の裡に終わった。

●2004年春の叙勲・叙位

同志社大学名誉教授山本 浩三氏が瑞宝重光章を受章され、5月7日皇居で伝達式が行われた。また、同志社大学名誉教授清水 澄氏が瑞宝中綬章、同志社大学名誉教授加藤 正男氏が瑞宝中綬章、同志社大学名誉教授濱田 清夫氏が瑞宝小綬章をそれぞれ受章され、5月12日国立劇場大劇場で伝達式が行われた。

●2004年度入社式

4月3日、同志社礼拝堂にて入社式が行われた。本年度の採用は、大学教員83人、女子大学教員25人、香里中学校・高等学校教員2人、女子中学校・高等学校教員5人、中学校教員1人、大学職員8人、女子大学職員5人の計129人である。

る。大谷實総長と野本真也理事長から歓迎のことばが述べられ、野本理事長から各学校の代表者に辞令が手渡された。

大学

●寒梅館、深水館、光喜館が竣工

▽3月29日、旧大学会館跡地に建設された寒梅館の竣工式が行われた。

地上7階、地下1階、延床面積1万8,145㎡。司法研究科とビジネス研究科の図書室・自習室・個人研究室・事務室、学生ラウンジ、会議室のほか学生支援センター、キャリアセンター、厚生館保健センターやリエゾンオフィスなどがある。

また、1階にカフェレストラン(11時〜23時)と7階にスカイレストラン(10時〜23時)がオープンし、昼・夕食には一般利用者も含めて、連日賑わっている。(巻頭のグラビアを参照)

▽3月30日、京田辺校地で光喜館(エネルギー変換研究センター)の竣工式が、総長・理事長出席のもとに行われた。



京田辺校地において挙行された光晝館の竣工式

地上3階、地下1階、延床面積2,574㎡。文部科学省平成15年度私立大学学術研究高度化推進事業に採択された共同プロジェクト「次世代ゼロエミッション・エネルギー変換システム」の研究開発拠点として整備されたものである。

▽3月31日には、溪水館（新研究室棟）の竣工式が理事長ほか教職員関係者等が出席して行われた。

鉄骨造り4階建、延床面積3,617

㎡で、館名は旧溪水館名を踏襲した。

本施設は、2004年4月に開設された政策学部、2005年4月に開設予定の社会学部が利用する教育・研究施設の一環として、新町キャンパス第1従規館・合宿棟の跡地に建設された。溪水館の完成により、新町キャンパスの一層の活性化が期待される。

●副学長制度が発足

4月1日

学内の意思決定の迅速化を図るため、今年度から副学長制度を設け、4月1日に2人の副学長が就任した。

1人は、経営・教学事業に関わる企画調整を受け持ち、将来構想を担当する。他の1人は、研究事業に関わる企画調整を受け持ち、京田辺校地の活性化、渉外を主に担当する。

●文科省「特色ある大学教育支援プログラム」に採択される

7月30日

文部科学省が選定する今年度の「特色ある大学教育支援プログラム（特色GP）」に、大学の学生支援プログラムが採択された。「大学コミュニケーションの創造——コミュニケーション・デバイドの克服」と題し、異なる学生グループ間で希薄にな

りがちなコミュニケーションを促進し、学生同士の交流を通じて、学生の成長を促す取り組み。キャンパス・コミュニケーションを自覚的に形成する過程を経て、支えられる側の学生はもちろん、支える側の学生の教育効果に力点を置いている。この文科省のプログラムには、全国から534件の応募があり、58件が選ばれた。

なお、八田英二大学長が理事長を務める大学コンソーシアム京都（京都地域の全51大学・短期大学が加盟）の「大学連携による新しい教養教育の創造——京都地域における単位互換制度——」も採択されている。

女子大学

●音楽学科声楽オペラ公演

第17回声楽オペラ公演W.A.モーツァルト作曲「フィガロの結婚」は2月21日に新島記念講堂で上演された。

音楽学科声楽コースの授業「オペラⅢ・Ⅳ」を履修している学生を中心に、

オーケストラ、スタッフなど百人を超える学生が関わり、1年かけて作り上げてきたこの舞台は、多数の立ち見が出るほどの盛況ぶりで、大成功のうちに終幕した。指導は同志社女子大学嘱託講師・坂口茉莉。



●情報メディア学科 井上直久氏 展覧会・講演会・ワークショップ

5月12日、京田辺キャンパスにて、画家・井上直久氏を迎え「イバラード マルチメディアで旅する絵の世界」と題して講演会が行われた。この講演会は、同氏による情報メディア学科ギャラリー展示「井上直久 絵画展―マルチメディアで観る絵画―」の関連企画として行われた

もので、ご自身の実際の歩みを交えながら、画家としての職業や絵画を制作する心の意外な動き、各種メディアへの展開等について語っていただいた。また6月30日には、同氏を講師としてワークショップが開催され、参加した学生25人はアクリル絵の具を使って、「心の風景」をテーマに制作を行った。同氏が創り出す、絵画とマルチメディアによる表現、「イバラード」の世界にじかに触れる良い機会となった。

●現代こども学科開設

2004年4月に現代社会学部現代こども学科を開設。110人が入学。現代社会を取り巻く状況の中、こどもを社会的な存在として捉え、社会的アプローチを中心として、「地球と社会」、「社会と地域」、「創造と共生」の3つの科目群からこどもを総合的に研究する。小学校教員免許課程を設置しており、卒業と同時に小学校教諭一種免許状が取得可能。卒業後の活躍するフィールドとしては、小学校教諭をはじめ、こども関連企業、児童支援福祉施設職員、こども支援NGO・NPO職員などが考えられる。

●大学院国際社会システム研究科開設

2004年4月に国際社会システム研究科国際社会システム専攻（修士課程）を開設。5人が入学。①国際社会の相互理解・発展をめざす文化面、経済面、②環境政策面での国際交流、③宗教的・地域社会的・社会心理的側面からの現代社会の理解、という三つの観点から、国際社会の諸課題に対して、「共生の道を探る」新たな社会システムの構築について教育研究し、かつ指導的な役割を果たすことができる高度な専門性を備えた職業人および研究者の育成をめざす。

●学術研究推進センター設置

本学の各学問分野の研究活動を高め、社会や地域への貢献をはかるために、全学的な学術研究推進業務を統括する機関として、4月1日、学術研究推進センターが設置された。これまでは、複数の事務室が担当してきた産官学等との連携業務、研究業績等の管理が一元化され、新たに知的財産管理業務も担当することになった。今後は本学の産官学および地域等とのリエゾン業務は当センターがコーディネートすることとなる。従来におい

でも産官学地域連携に関する取組みは行っていたが、これまで以上に積極的かつ効率的に社会のニーズと学内のシーズを結びつけることが期待されている。

●商標登録

同志社女子大学キャラクターおよびその名称「VNU」について特許庁に商標登録申請を行った結果、キャラクターについては4月30日付で登録された。名称の「VNU」については現在登録手続き中である。さらに、女子大学の徽章やエンブレムについても登録申請を行い、5月14日付で徽章およびエンブレムは商標として登録された。

●春季リトリート

5月22日・23日に同志社びわこリトリートセンターで行なわれ、教職員を含め94人が参加。沢知恵氏（歌手）に「分かちあう心」をテーマにピアノ弾き語りによるコンサートをしていただいた。「うたとピアノ」を通してすべてを伝えるという彼女の歌声（「ここから」からのメッセージ）に会場は大きな感動に包まれた。日々の生活と離れて自分を見つめ返し、心を開いて共に語り合う貴重な時間を過

ごした。また新しい仲間と出会えたこの2日間は参加者のこれからの生活をより豊かにしてくれるものと確信している。

高等学校

●校祖永眠記念礼拝

1月23日

●3年学年末試験

1月27～1月31日

●入学試験

受験志願者数 395人

2月10・11日

（女子 169人、男子 226人）

●卒業式

3月10日

卒業生 415人

（女子 208人、男子 207人）

●1・2年学年末試験

3月2～3月6日

●入学前オリエンテーション

対象 同志社中学校生徒 3月24日

対象 外部中学校生徒 3月26日

入学後の心構えや学校生活についてのいろいろなガイダンスと教科書の購入などがあつた。

●入学式

4月7日

新入生 403人

（女子 206人、男子 197人）

外部中学校出身者 84人

（女子 36人、男子 48人）

●2・3年生学力テスト

4月15・16日

●健康診断

4月27日

●遠足

4月30日



各クラス行き先・班分け・食事のメニューなどすべてクラス討議で決定し、実行された。

●中間試験

5月24～27日

●宗教週間

6月7日

▽「何を持ってきたのか」

後宮 敬爾氏（札幌北光教会牧師）

6月8日

▽「負け試合を支えるもの」

柳下 明子氏（天津教会副牧師）

6月10日

▽「小さな出来事」

小笠原 純氏（高槻市日吉台教会牧師）

6月11日

▽「わたしたちの平和」

村山 盛芳氏（大阪浪速教会牧師）

●球技大会

6月9日

クラス対抗でサッカー、バレーボール、バスケットボール、ドッジボールなどの球技を競い、大いに盛り上がった。

●保護者クラス懇談会

6月10日

●教育実習

5月31～6月16日

●期末試験

7月2～7日

●団体鑑賞

7月9日

劇団そとばこまち「猿飛佐助」一期は夢よただ狂へ」を2、3年生が鑑賞した。

●1年クラス合宿

7月15・16日

1年生各クラスがそれぞれ別々の地域の宿舎で合宿。2学期の学園祭に向けてのクラスの取り組みが話し合われ、クラス全体の親睦にも大いに役立った。

●3年生個別面談

7月22・23日

●ウエスリー交換留学生

7月23日

1年生9人、2年生9人が2人の付添教員とともにオーストラリア・メルボルンに出発。帰国は8月8日。

香里中高

3学期

●今年もインフルエンザ大流行

1月19日より学級閉鎖が始まり、ほとんどの学年が閉鎖し、2月4日まで続いた。そのため期末考査前に7時限を付け足し、不足分を補った。

●中学人権映画会

1月15日

「I am Sam」を観賞した。

●高大連携

2月20日

大学の文学部中井義明教授が、高校2年の日本史と中学2年の歴史授業を参観された。

●高校卒業式

3月9日

昨年とは異なり晴天であつたので、女子生徒のほとんどが振り袖姿で華やかだった。

●スキー学校

3月19～23日

例年どおり野沢温泉で実施した。

●国際力ナタ語学研修

3月18～4月4日

昨年はイラク情勢の悪化により出発の日中止になり、泣き出す生徒もいたが、今年は予定どおり実施された。

●ヌエバ交流校プログラム

3月21～29日

●アメリカ、ボストン交流プログラム

3月22～4月2日

●サッカー部イングランド遠征

3月23～4月2日

今回が3回目になり、ロンドン郊外のワットフォードに滞在し、プロコーチによるトレーニングを受けたり、現地校と



スキー学校（野沢温泉にて）

の対抗戦などを実施した。合間にロンドン市内観光やウインザー城へも行った。総勢34人が参加した。

1学期

●創立者墓参

中学1年は朝にお参りをし、オリエンテーションに出発した。午後に高校1年

が墓参をし入学の報告をした。

●ヌエーバ校の生徒が短期留学

5月中旬
授業に参加したり、お茶室（八重庵）でお茶を嗜んだ。

●オープンキャンパス

6月20日
体験授業のほか、今年はパネルディスカッションが加わった。

●高校外部模擬試験

7月16日
終業式終了後、3学年で実施された。来年度よりの導入のためのデータ収集だった。

女子中高

●卒業式

2月20日
高校卒業式
3月19日
中学卒業式

それぞれの進路に向かって巣立っていった。

●修学旅行

中学2年生は、3月21日から23日の2泊3日の日程で長崎方面に、高校2年生は、3月20日から24日の4泊5日の日程

で南九州に修学旅行を実施した。

●スキー学会

3月21日から25日まで高校1年生の希望者を対象に、北志賀高原、竜王でスキーの講習会を実施した。

●入学式

4月7日
中学校247人、高等学校262人を迎え、入学式を行った。

●女子部創立記念日

4月21日
女子部創立125周年の記念礼拝をもった。礼拝の特別講師には同志社女子大学名誉教授、駕渕紹子先生をお迎えし、「栄光館とパイプオルガン」という題で奨励をしていただいた。

●春季遠足

5月6日
中学2年生から高校3年生が各学年ごとに遠足を行い、クラスの親睦を深めた。

●中学1年生修養会

5月6～8日
滋賀県国民休暇村近江八幡にて「同志社で学ぶ」を主題にして修養会をもった。修養会を通して同志社に学ぶ意義を考えた。

●国際交流

米国サンフランシスコ郊外にあるヌエーバ校との交流で本校生徒が現地では3月

21日から29日までホームステイをし、ヌエバ校へ体験入学した。5月8〜15日までヌエバ校生9人がホームステイし、本校へ体験入学した。文化交流し、なごやかな時を過ごした。



●母の日礼拝

5月14日
カーネーション販売の収益金および募金はハンセン病救済団体の好善社と

IDEA JAPANに送った。

●芸術鑑賞

6月8日
京都コンサートホールにおいて京都市交響楽団の演奏を鑑賞した。

●球技大会

高校生は6月2日、中学生は6月24日に、球技大会を実施した。バレーボール、ドッジボール、ポートボール、バスケットボールにと覇を競った。中学、高校ともに、楽しい1日であった。

●花の日礼拝

6月17日には、聖歌隊の合唱、ハンドベルの演奏による賛美礼拝をもち、18日には、花を持ち寄って飾り、花の日の礼拝をもった。その日の午後、花と募金を持って、京都市内を中心とする養護施設、老人ホーム、病院、保育園等24カ所を高校1年生が訪問し、交流をもった。

国際中高

2004年1学期

●入学式

●始業式

4月6日
4月8日

●宿泊研修

中学校

高等学校

5月6〜7日
5月10〜11日
新入生の生徒たちが、同志社で学ぶことの意味を考えながら、新しい友達と共に生きることを学んでもらうための機会である。



宿泊研修時の朝の礼拝

●校外学習

6月7日
井上ひさし氏の脚本からなる名作「父と暮らせば」の劇団小松座の公演を鑑賞した。ヒロシマの8月6日以降、猛火に灼かれ死んでいった人々ばかりではなく、生き残った人々にも、原爆は言いようのない苦しみを与え続ける。娘の苦しみを救うために幽霊となって現れたお父さんの姿に、平和の大切さを深く考える時間を与えてもらった。

●花の日礼拝

6月8日

●高等学校球技大会

中学校遠足

6月17日

1年生 希望ヶ丘文化公園

2年生 嵯峨野嵐山ウォークラリー

3年生 山城森林公園飯盒炊爨

高等学校はクラス対抗形式のバレーボール大会が、中学校は学年ごとに遠足を実施した。梅雨の時期で天候が心配されたが、真夏のような暑い1日をそれぞれ楽しく過ごした。

●日本文化の日

6月24日

アメリカカローレンスビルスクールからの短期留学生、1年間の交換留学生を交えて、多くの生徒が浴衣姿の1日を過ご

した。事前の浴衣の着付け教室、当日の昼休みには日本文化に関するクイズやゲーム大会など、暑さを吹き飛ばして元気に楽しんだ。

●フィリップスアカデミー

サマーセッション

6月29日

例年の行事となった校祖新島襄の母校「フィリップスアカデミーエンドーバー」へのサマープログラムに、今年度も学校を代表して7人が参加した。6週間におよぶ学習と行事プログラムに参加する。実り多い研修となることを祈っている。

●中学1年生体験学習

7月9・10日

花脊山の家にて、フィールドアスレチック、飯盒炊爨、ファイヤーストームなど盛り沢山のスケジュールで行われた。普段見ることのできない生徒たちの姿がとても新鮮であった。

中学校

●合唱祭

2月24日

各クラスとも、学年を締めくくる毎年恒例の行事としてクラス全体が一つとな

り素晴らしい合唱を披露した。

●卒業式

3月19日

卒業生324人

(女子175人、男子149人)

●ヌエーバスクール訪問

3月21～30日

昨年度はイラク戦争のために出発間際で中止になったため、今回が本校からの初めての訪問となった。8人(男子3人、女子5人)の生徒がホームステイと授業参加などの交流を行い、有意義な訪問となった。

●入学式

4月5日

新入生325人

(女子176人、男子149人)

●新入生オリエンテーションキャンプ・創立者墓参

4月21～23日

同志社びわこリトリートセンターで1泊2日のキャンプと創立者墓参を2期に分けて行った。

●遠足(2・3年生)

4月23日

2年生は滋賀県志賀町の松の浦キャンプ場で、3年生は滋賀県希望ヶ丘で飯盒炊爨を行った。

●1年生保護者のための



新入生オリエンテーションキャンプ

● 学校生活案内の集い 5月17日
各教科、校務から学習や学校生活について
の説明の後、施設、クラブ見学等を実
施した。

● ヌエーバススクール生との交流

5月8～15日

ヌエーバススクール生の本校訪問は数え
て4回目となり、男子3人、女子5人が
本校生徒宅にホームステイ。約1週間、
授業やクラブ活動に参加するなど生徒同
士の交流を深めた。

● 生徒大会

5月13日

今年度の生徒会の活動方針と予算案が
提案され承認された。ヌエーバススク
ル生も参加し、記念品が贈呈された。

● 能狂言・演劇鑑賞

6月4日

1・2年生は京都劇場で劇団四季の
「美女と野獣」、3年生は観世会館で能狂
言を鑑賞した。

● オープンキャンパス

6月5日

約2300人の小学生と保護者が来訪
され、礼拝や模擬授業に参加された。

● 春季宗教週間

6月7～11日

8日「小さな出来事」

小笠原純先生（日本基督教団高

槻日吉台教会牧師）

9日「明日につながる今」

柳下明子先生（日本基督教団大

津教会副牧師）

10日「BAN ANA」

村山盛芳先生（日本基督教団浪

花教会牧師）

11日「たった一人」の大切さ

後宮敬邨先生（日本基督教団札幌

幌北光教会牧師）

● 花の日礼拝・施設訪問

6月10日

「わたしたちと自然」

西村仁志先生（本校卒業生、環境共
育事務所カリーズ代表）

放課後、持ち寄られた花を持って船岡
寮を生徒会執行委員、ホザナコーラス部、
宗教ハンドベル部、ピースリンク部の生
徒が訪問した。

● 全校バレーボール大会

6月17日

● 英語暗唱大会

6月25日

幼稚園

● 1月お誕生日会

1月23日

午前中は全園児で、午後は誕生日を迎
えた園児と保護者、教員が昼食を共にし、
お祝いをした。（毎月1回行う。）

● 参観日

2月2～9日

自由遊び、クラスの設定保育の様子を

保護者に見ていただいた。

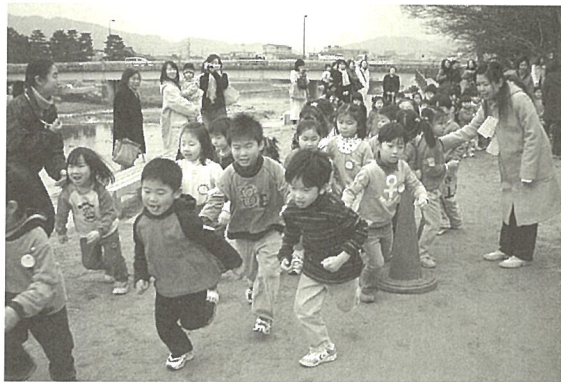
●おもちつき

2月4日

おもちをついて、つきたてのおもちにきなこやあんこをつけておいしく食べた。

●鴨川マラソン大会

2月10日



鴨川マラソン大会

全園児で鴨川へ行き、マラソンを楽しんだ。

●園外保育

2月13日

年中・年長児で防災センターに出かけ、映画を観、火事や地震体験をした。

●交通安全教室

2月23～25日

中立売署の婦交さんに横断歩道の渡り方や、交通ルールを分かりやすく指導していただいた。

●大道芸鑑賞

2月27日

全園児で劇団「飛行船」による紙芝居や南京玉すだれを鑑賞した。

●移動動物園

3月3日

園児が野菜や果物を持参し、園庭で動物たちと触れ合い、楽しく過ごした。

●ひな祭り会食

3月3日

●卒園礼拝

3月8日

年長組親子が同志社礼拝堂で礼拝をした。

●お茶会

3月11日

年長組が保護者をお茶とお菓子でもてなした。

●保育修了式

3月16日

年長組(35人)の園児が卒園証書をいただき、お別れの言葉や歌を歌った。

●入園式

4月12日

3歳児39人・4歳児4人が入園。

●懇談会

5月6・10・11日

クラスごとに年間目標や子どもの様子、クラスの取組みについて意見交換を行った。

●園児大会

5月13日

京都市私立幼稚園の年長児が植物園に集まり、スタンプラリー等を楽しんだ。(年長組親子参加)

●春の遠足

5月24日

宝ヶ池公園(年中組園児)

5月25日

宝ヶ池子ども楽園(年少組親子)

梅小路公園(年長組園児)

●参観日

6月7～10日

●花の日礼拝

6月17日

園児たちが花を持参し、感謝の礼拝を行い、その後いつもお世話になっている方々に園児たちが持ち寄った花を届けた。

●開園記念バザー

6月19日

園児や卒園生、近所の方などが集まり、ゲームや買い物を楽しんだ。

●じゃがいも掘り

6月30日

年中・年長組で地下鉄に乗って北山の畑に出かけた。